



議会だより

なよろ

21

No.

2011 . 7 . 1 発行



写真上、左下は綱引きに渾身の汗を流す市民の皆さん
(スポーツセンター)

『チャレンジデー 2011』が5月25日に開催されました。このチャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で行われるスポーツイベントです。15分以上継続して運動した「市民の参加率」を、人口規模のほぼ同じ自治体が競い合うもので、今年の実戦相手は沖縄県の読谷村でした。

第2回定例会

新議会構成	2 ~ 4
定例会で決まったこと	5
一般質問に9人・議会日誌	6 ~ 10
議員協議会・用語解説・議会スナップ	11
政務調査報告	12 ~ 14
各委員会活動報告	15
きぼう・編集後記	16

平成23年第2回臨時会(5月11日)

議会構成が決

議長に黒井 徹氏



黒井 徹 議長

略歴

新名寄市議会で議会運営委員長(平成19年5月から23年4月)、民生常任委員会副委員長(平成21年10月から23年4月)を歴任。

新名寄市議会議員として当選2回。

会派は市政クラブ。

総務文教常任委員会

委員長



駒津喜一 議員

副委員長



高橋伸典 議員

委員



宗片浩子 議員



佐藤 勝 議員

市民福祉常任委員会

委員長



谷内 司 議員

副委員長



日根野正敏 議員

委員



東 千春 議員



川口京二 議員

経済建設常任委員会

委員長



竹中憲之 議員

副委員長



山口祐司 議員

委員



熊谷吉正 議員



佐々木 寿 議員

まりました

副議長に佐藤 勝氏



佐藤 勝 副議長

略歴

新名寄市議会で民生常任委員会副委員長（平成19年5月から平成21年10月）民生常任委員会委員長（平成21年10月から23年4月）を歴任。

新名寄市議会議員として当選2回。

会派は市民連合・凜風会。



植松正一 議員



大石健二 議員

所管

総務部・会計室・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・教育委員会及び名寄市立大学の所管に属する事項



奥村英俊 議員



川村幸栄 議員

所管

市民部・健康福祉部・名寄市立総合病院及び名寄市風連国民健康保険診療所の所管に属する事項



佐藤 靖 議員



山田典幸 議員



上松直美 議員

所管

経済部・建設水道部及び農業委員会の所管に属する事項

議会運営委員会

委員長 佐藤 靖
副委員長 佐々木 寿
委員 東 千春
" 日根野 正敏
" 駒津 喜一
" 山田 典幸
" 大石 健二
" 上松 直美
" 奥村 英俊

議会報特別委員会

委員長 大石 健二
副委員長 川村 幸栄
委員 日根野 正敏
" 高橋 伸典
" 川口 京二
" 山田 典幸
" 上松 直美
" 奥村 英俊

上川北部消防事務組合議会議員

黒井 徹
大石 健二
奥村 英俊

名寄地区衛生施設事務組合議会議員

東 千春
佐々木 寿
高橋 伸典
佐藤 靖
植松 正一

名寄市監査委員

熊谷 吉正

名寄市議会議員会

会長 宗片 浩子
副会長 植松 正一
幹事 高橋 伸典
" 大石 健二
" 川口 京二
監事 谷内 司
" 川村 幸栄

森林・林業・林産業活性化推進議員連盟

会長 植松 正一
副会長 宗片 浩子
事務局長 上松 直美
幹事 奥村 英俊
" 山田 典幸
監査 竹中 憲之
" 山口 祐司

名寄市都市計画審議会委員

植松 正一
大石 健二

会派構成

市政クラブ

会長 東 千春
副会長 宗片 浩子
" 駒津 喜一
幹事長 佐々木 寿
幹事 川口 京二
会計 山田 典幸
黒井 徹

市民連合・凜風会

会長 熊谷 吉正
副会長 植松 正一
" 竹中 憲之
" 佐藤 靖
幹事長 日根野 正敏
副幹事事務局長 奥村 英俊
佐藤 勝

新緑風会

会長 山口 祐司
幹事長 大石 健二

清風クラブ

会長 谷内 司
幹事長 上松 直美

公明

高橋 伸典

日本共産党

川村 幸栄

第2回定例会 5月31日から6月13日までの14日間

名寄市風連地区地域振興審議会設置条例の制定 ～ 合併特例区解散後の地区の課題を審議～

平成23年第2回定例会は、5月31日から6月13日までの14日間開かれました。6月9日からは、本会議ほか各委員会もノーネクタイ上着なしのクールビズで行われました。議案等の審議では、条例案6件、補正予算案3件、その他16件、報告14件、意見書案1件を審議しました。

一般質問は、6月9日、10日、13日の3日間行われ、9人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について質問しました。

主な条例

名寄市風連地区地域振興審議会設置条例の制定

風連町合併特例区解散後において、風連地区の将来を見据えた区域の課題の検討、区域住民の協力と連携などに関して、市長の諮問に応じて答申する審議機関として、名寄市風連地区地域振興審議会を設置する条例の制定。原案可決。

名寄市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正

単身世帯、高齢者世帯の増に伴い、少ない容量の炭化ごみ、生ごみの指定袋の要望があることから、市民の利便性を図るとともに、混入排出の抑制も見込まれる3の炭化ごみ、生ごみの指定袋を追加する一部改正。原案可決。

審議日程

5月31日(火)	6月10日(金)
・開会	・一般質問
・行政報告	議会運営委員会
・議案等の審議	6月13日(月)
議員協議会	・一般質問
6月3日(金)	・委員長報告
総務文教常任委員会	(付託議案)
6月7日(火)	・議案等の審議
総務文教常任委員会	・閉会
6月9日(木)	議会運営委員会
・一般質問	議員協議会

可決された意見書

- ・公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

人事案件

教育委員会委員

名寄市教育委員会委員の任命について同意しました。

小野 浩一氏

旭川市末広2条2丁目2-4



農業委員会委員

名寄市農業委員会委員に推薦しました。

矢吹 祐子氏(新任)

名寄市字朝日625番地6



五十嵐 雅美氏(新任)

名寄市字智恵文15線北21番地

人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

長谷川 良雄氏(再任)

名寄市西2条南6丁目25番地

主な補正予算

がん検診事業

従来のも女性特有のがん検診に加え、大腸がん検診に対する助成を国の制度を活用して実施するため、175万6,000円を追加。

農畜産物処理加工施設整備事業

施設面積の増加による工事請負費の増と、必要な備品の購入のため7,000万円を追加。

一般質問



市民サービスの向上を

市民連合・凜風会
奥村 英俊 議員

■ 新たな相談窓口の設置

問 市役所に訪れる方の様々な相談に対応できる専任の職員を配置した「生活・福祉総合相談窓口」の設置を提案する。

答 現在は市役所の各窓口、市民会館、消費生活相談、無料法律相談で対応している。各部との連携や電話相談、戸別訪問の対応でトラブルがないので当面現行体制を継続する。

■ エゾ鹿処分方法の再検討

問 エゾ鹿駆除後の仮置きは埋立そのもの、現状も不衛生であり大型冷凍コンテナの導入を提案する。処分方法を焼却と決定したが調査不足。破砕機、脱水機、汚染水処理の導入で炭化センターに搬入でき、広域での活用もできることを

提案する。

答 5月14日から85頭が搬入され、最終処分場の仮置きの不衛生化を認識し、大型冷凍コンテナの導入を検討する。処分方法は破砕機と併せて水分処理が必要で焼却処分が望ましいが、焼却処理の場合はランニングコストの面からも課題があり再度処分方法を検討する。

他の質問・市立病院医療スタッフの確保について



風連最終処分場のエゾ鹿残滓置き場

答 現在、新総合計画の後期計画を策定中であり、具体的な手法等を定める（仮称）名寄市観光振興計画を今年度中に策定予定。この計画の中で市民による美化運動や観光案内等市民意識向上に取り組み、研修機会の充実、ネットワークの構築を含めた「市民によるおもてなし戦略」を定めていく。

他の質問・防災訓練・伝統文化理解教育・国道への要望（自衛隊体制維持・高速道路延伸・サンルダム再着工）について



（仮称）観光振興計画策定

市政クラブ
佐々木 寿 議員

■ 教訓を踏まえて

問 東日本大震災での教訓と反映すべきもの特に早急に取り組む事業について、また、自主防災に対する取り組みを伺う。

答 教訓として、命を守るため躊躇することなく避難が第一。災害相互支援協定も今後支援体制づくりを視野に入れ構築する計画を、国、道の支援にかかる指針を注視し対処する。また、自主防災組織については、自主的活動を尊重し、危険マップの作成や防災訓練に取り組む中で自主防災組織ができるよう育成に努めていく。

■ 観光のまちづくり

問 商観光構想と今後の取り組みについて伺う。市民と協働で進める観光施策について伺う。



交流人口増加を牽引する天文台“きたすずばる”

一般質問



自然エネルギーの活用を

公明 高橋 伸典 議員

命を助ける授業を

問 ある街では、「私も我が家の救急隊員」をキャッチフレーズに、小学6年生に応急手当の指導を行い、目の前で人が倒れているときに、自分に何ができるのか、命の大切さ、人のために行動する素晴らしさを学び、救命について考える授業をしている。中学3年生は、普通救命講習を終了し、街全体で31.8%の救命士を普及しているが、名寄市の状況は。

答 普通救命講習を修了した教員は6割となり、新学習指導要領では、小学校でAEDを活用した命を助ける取り組みとして、保健体育授業の中で危険を避けるための工夫など、自らの命を守る指導をしている。消防署など関係機関と連



希望のある農業施策を

市政クラブ 山田 典幸 議員

農商工連携の推進を

問 当市においても農商工連携の取り組みが増えてきている状況だが、今後一層の連携推進に向けての方向性と支援策は。また、新設された営業戦略室としての取り組みは。

答 「なよろの畑自慢倶楽部」「新・なよろブランド開発プロジェクト」などの取り組みから名寄の農産物や加工品のPRや販促、新商品開発と販路の確立を進めている。今後も新たな取り組みに対し、関係機関・団体と連携し支援していきたい。営業戦略室としても、本年策定予定の(仮称)名寄市観光振興計画において、強く推進し、販売・PR活動に努めていきたい。

携し、AED・心臓蘇生法・止血の方法などの指導を充実するよう努め継続する。

メガソーラー計画

問 自然エネルギー協会が設立され、エネルギー革命のもと、全国の自治体と大手通信会社が共同で構想を進めている大規模太陽光発電所の名寄への誘致の可能性は。

答 自然エネルギー協会に北海道も加入した。50の耕作放棄地の確保が難しく、農地法の制限もありメガソーラー計画誘致の取り組みは非常に厳しい。道の動向等推移を見守る。



クリーンエネルギーの普及推進(名寄小学校)

学力向上対策について

問 子ども達の学ぶ意欲の低下が問題となっている。今後の指導現場での対策と方向性は。

答 授業改善、規則正しい学習習慣の確立、キャリア教育、良さを認め励ます、学習環境の整備の5点の取り組みを推進し、授業の質の向上、教師の指導力の向上に努め、家庭や地域と連携し基本的な生活習慣の定着を図っていく。また、天文台など地域の教育環境資源を有効に活用し、学ぶ意欲を高めるよう努めていく。

他の質問・担い手の育成確保の対策について



地域資源を活用したまちづくりを

一般質問



市内経済への影響大

市民連合・凜風会
佐藤 靖 議員

東日本大震災の影響

問 3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害を与え、被災地の1日も早い復興が待たれるが、復興財源として自衛隊員を含む国家公務員給与削減、さらには地方交付税の削減なども予想されている。名寄市への影響は。

答 削減額は、自衛官で1億5,000万円程度、他の国家公務員では2,700万円程度と推計しており、消費動向、税収への影響は極めて大きい。一方、地方交付税も2～3億円の減額が懸念される。今回の国家公務員給与削減は、市職員給与に連動させない方針だ。

駅横再開発と人材育成

問 仮称・複合交通センターは間もなく基本設



市立病院の体制強化を

市政クラブ
東 千春 議員

名寄市立病院について

問 医師の処遇や具体的な看護師確保対策や給与表作成のシミュレーションについて。

答 医師へは業績評価と報酬のあり方、研究支援、当直明けの休暇の検討、住宅環境の整備や24時間保育などを考える。看護師へは研修の充実や認定看護師資格取得の助成、学資金の貸付額の増額など総合的に進める。給与表導入では初任給で約1万5,000円高くなるなど、当初数年～10年程度は給与総額は膨らむと予想する。まずは試算を行い、できるだけ早い時期に明らかにする。

都市再生整備計画は

問 (仮)複合交通センターや(仮)市民ホー

計段階に入るが、民間企業に売却した土地では賃貸住宅の建築確認申請は出たものの全体像は見えない。今後の見通しは。また、新・名寄市人材育成方針に基づいた取り組みがより必要ではないか。

答 商業集客施設については、9月までの着工予定に変更はないが、施設内容が変わる可能性はある。人材育成は、基本方針に基づき職員の質の向上を図りたい。



東日本大震災は壊滅的被害を与えた

ル計画の進捗について。3-6開発とビル街について。

答 施設機能は関係する団体と協議を行い、9月をめどに建設着手。市民ホールは施設の規模や活用のあり方を含めホールの全体像を本年度の基本設計で明らかにしたい。3-6開発は民間での事業は困難であり事業化できない。ビル街は、火災、倒壊の危険性がある。これまで再整備の検討もあったが実現しない。商工会議所と協議し、所有者と今後の方向を探りたい。他の質問・短期大学の4年制化などについて



医師、職員の処遇や給与の望ましいあり方は

一般質問



市民が主役のまちづくりを

新緑風会

大石 健二 議員

■ 通年議会への可能性を探る

問 平成19年から21年までの議会の開会回数と専決処分の事件件数に比較して、22年は臨時会の開会は1回にとどまり、専決処分件数も12件と歴年の数字を大きく超えている。議員として、いずれ議会改革の中で、通年議会の案を提案していくが、執行者として審議や議決の迅速化を図る施策として、専決処分を廃して通年議会の中で定例会もしくは臨時会で随時招集し、議案として提案する考えは。

答 通年議会や会期、定例・臨時会の回数を含めて行政改革、議会改革の全体会議の中で整理すべき課題と考える。



新しいグループホームとして

清風クラブ

上松 直美 議員

■ 共生型グループホームの可能性

問 本年9月に名寄市初の共生型グループホームが開設される予定となった。高齢者と障がい者の共生について、今後どのような位置づけとして取り組み、グループホームの計画を進めていくのか、基本的な考え方は。

答 高齢者と障がい者が一つ屋根の下で、年齢や障がいの内容、程度を超えて、地域とのかかわりの中で生きがいや役割を持ち、お互いの不足する部分を補完しあって豊かに暮らすことを目的に、高齢者の生きがい対策の効果と障がい者の社会参加と自立支援を考えて、住み慣れた地域で生活続けることを第一に、「日常生活圏ニーズ調査」を分析し、必要なサービスの種

■ 審議会等の設置指針を

問 本年2月24日に協議会設置に関する条例案が提案されたが、その後に条項条文に適切性を欠く文言が散見されたとして同案を取り下げた経緯がある。名寄市には審議会・協議会の定義や設置に関する取り決めを書き表した指針などが整備されていないのでは。

答 明確な定義付けは行っていない。今後はしっかりとした定義付けを行い、新たな条例案・規則等はそれに対応していく。

他の質問・定住自立圏構想（水力ダム施設の拡充等）について・新学習指導要領について



圏域の自然エネルギー施設（岩尾内ダム）

類等に反映し、計画的に設置を検討している。

■ 森林行政における取り組み

問 国際森林年における森林行政の取り組みは。

答 名寄市長が会長の上川北部流域森林・林業活性化協議会、上川北部森林管理署、和寒町の3団体で共催し、国際森林記念植樹「道北の森を歩く」に参画している。市内でも森林に親しむフィールドワークとして、健康の森、道立トムテ文化の森で各種イベントを開催し、森に親しむ様々な取り組みをしている。



今あるものを有効活用したまちづくり

一般質問



大震災から学ぶこと

日本共産党 川村 幸栄 議員

大震災への支援と教訓

問 杉並区など5自治体による「スクラム支援会議」により南相馬市に市の職員を派遣しているが、今後の支援についての考えは。大震災から学ぶべきものとして、災害弱者の対応、毛布・水・食料などの備蓄状況は。大震災の中でTPP参加を早めたいと言われているが、農業への対応についての考えは。

答 5月22日から6名の職員を3班に分けて派遣している。7月下旬に南相馬市の要望などを聞き検討したい。高齢者、障がい者、子どもなど災害弱者への対応は、各町内会や福祉関係者などの協力を得ながら実態把握と支援の確認をしていく。危険マップをつくり、昨年の大震災

害が大きかった地域に配布する。7月に毛布300枚を用意する予定。TPPは農業、地域経済に多大な影響を及ぼす。食料基地北海道を守るために関係機関と連携していく。

地域活性化のために

問 地元業者、市民から、使い勝手の良い住宅リフォーム助成制度の復活を望む声が多いが。

答 要望が多いのは承知している。関係団体と協議していきたい。

他の質問・国保税の市民負担について



地域活性化のために住宅リフォーム助成制度の復活を

議会日誌

- 3月18日 ・議会報特別委員会
- 30日 ・議員協議会
- 5月2日 ・各会派代表者会議
- 6日 ・各会派代表者会議
- 9日 ・各会派代表者会議
- 10日 ・各会派代表者会議
- 11日 ・各会派代表者会議
- ・第2回臨時会
- ・総務文教常任委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・経済建設常任委員会
- ・議会運営委員会
- ・議会報特別委員会
- 12日 ・上川北部市町村議会議長会
- 5月定例会・総会(音威子府村)
- 18日 ・総務文教常任委員会
- 19日 ・北海道市議会議長会道北支部

- 議長会(春季)(稚内市)
- ・市民福祉常任委員会
- 20日 ・各会派代表者会議
- 23日 ・北海道市議会議長会監事会・正副会長・役員会(岩見沢市)
- 24日 ・高速自動車市議会協議会監査(議長応接室)
- 25日 ・議会運営委員会
- ・議会報特別委員会
- ・経済建設常任委員会
- 26~27日 ・北海道市議会議長会定期総会・研修会(根室市)
- 31日 ・議会運営委員会

お詫びと訂正

議会だより20号(4月1日発行)に脱文がありました。お詫びして訂正します。
5頁の佐藤靖議員の代表質問中、右側欄の上から2行目に「問 消化器内科の縮小による財政的影響は。ま」が加わります。

議員協議会

議員協議会開催される

5月31日と6月13日の本会議終了後に議員協議会が開かれた。

5月31日には、名寄市土地開発公社、名寄振興公社、ふうれん、名寄市社会福祉事業団の経営状況の報告と質疑が行われた。

平成22年度決算では、名寄土地開発公社が当期純利益34万4,530円を計上。また、名寄振興公社は、暖冬少雪でオープンが遅れたため、各施設で利用客の減少となったが、市への施設利用料の減額により同123万5,619円を計上した。議員からは施設の改装計画や管理、利用客増を図る施策等について質問や提言が行われた。

再開発事業の最終年度となったふうれんは、業務を再開発事業に絞ったことから売り上げが立たず、7万7,741円の損失を計上。前期繰越損失金と合わせると21万969円の累積損失金の計上となった。

社会福祉事業団では、1億2,570万2,899円を次年度に繰入、多様化する福祉サービスの業務推進を図っていくとした。

6月13日には、本年3月末で解散したふうれん望湖台振興公社の事業報告が行われ、当期未処分利益77万7,000円から租税公課等を差し引いた現金22万2,336円、車両運搬具・備品等を名寄市に寄贈、株主への出資金返還等をもって同公社は6月10日付で清算（解散）を完了、23年度末までの残余期間は指定管理者となった名寄振興公社が事業を継続する。



◆◆◆ 用語解説 ◆◆◆

1 メガソーラー

今のところ正確な定義はないが、出力1メガワット(1000キロワット)を超える大規模な太陽光発電施設のこと。一般住宅向け設備の平均的な発電容量が3~4キロワットであり、自家消費が主目的であるのに対し、近年、電力会社等が建設を進めている大規模な商業用太陽光発電施設がメガソーラーと呼ばれている。

2 グローカリズム

グローバル(GLOBAL)とローカル(LOCAL)からの造語。

国境を越えた地球規模の視野と草の根の地域の視点でさまざまな問題を捉えていこうとする考え方。

議会スナッフ

チャレンジデーに参加

議員会



「一生懸命、汗をかいてガンバってます。何事にも市民の皆様のために力を合わせてガンバります！」

政務調査報告

市政クラブ

平成 22 年度は道外、道内各 1 回の視察を行った。道外では、茅野市「福祉でまちづくり」、北杜市「医療・介護費のクレジットカード支払いについて」、「公有財産の売却」、都留市「見える化の導入」、「小水力発電」を視察した。道内は、滝川市「駅前広場く・る・る」、札幌市「ターミナルプラザことに PATOS」、石狩市「データセンター誘致事業」、栗山町「(財)栗山町農業振興公社」の 9 項目を視察した。

視察先テーマの選定は、名寄市で課題とされている、または、将来必要と考えられる内容を選んでいく。道外では茅野市の福祉への取り組み

市民連合

市民連合（構成 4 人）では、政務調査費を活用して平成 22 年 10 月 3 日から 7 日まで、長野県松本市、駒ヶ根市、岐阜県恵那市、大垣市、愛知県岩倉市を訪問した。松本市では、「市民労力提供に対する原材料支給事業」など 3 項目 12 点。駒ヶ根市では、「協働のまちづくり条例」など 2 項目 9 点。恵那市では、「目標による組織目標管理」など 2 項目 8 点。岩倉市では、「庁舎の工夫と庁内組織のグループ制」など 3 項目 9 点。大垣市では、「大学等との連携推進に関する指針」など 2 項目 8 点について調査を行った。

凜風会

平成 22 年 12 月 8 日から 12 日まで実施。

山口県萩市～「萩ものがたり」の出版事業。萩の歴史文化・人物など萩のすべてをブックレットシリーズ「萩ものがたり」として百冊刊行。平成 16 年から年 4 冊出版、25 年を要す。

山口県光市～市民活動推進のための基本方針。生涯学習、公民館活動などを市長直属機関の市民地域づくり推進課で取り組む。

山口県下松市～心豊かな人づくりについて。

地域社会の精神的基盤として、笑い・花・童謡を三本柱として事業を推進。

山口県山陽小野田市～生活改善・学習向上

みや都留市の「見える化」の考え方が印象に残った。道内では、(仮称)複合交通センターの参考となるように、会議室と文化活動が両立できる施設とその運営について、また、冷涼な気候で地震が少なく電力供給が容易なことから、データセンターを視察し名寄市への誘致の可能性について調査した。



都留市の小水力市民発電所前にて

また、調査項目とは別に、愛知県名古屋市の「市民税 10% 減税」、名寄市と同じ炭化センターを実施している恵那市の「エコセンター恵那」についても資料提供を受けた。

調査結果については、その後の議会の場で市政に反映すべく提案・提起もしている。



協働のまちづくりを目指す松本市では訪れやすい市役所づくりにも配慮している。

プロジェクトについて。…生活習慣の分析と脳科学を取り入れた知能を伸ばす取り組み。

福岡県大野城市～総合型行政評価システム（公共サービス DOCK）事業。…市民、民間コンサルなどによる第三者評価（診断）方式フルコスト計算書診断。結果を予算に反映。



調査を終えて山陽小野田市役所前にて

政務調査報告

緑風クラブ

緑風クラブでは平成22年7月26日から30日までの5日間、ユニークな取り組みで注目されている徳島県上勝（かみかつ）町の「葉っぱビジネスの軌跡」をはじめ高知県高知市の「いきいき100歳体操」、同県馬路村の「ゆず加工品で村おこし」をそれぞれ訪問して政務調査を行った。

2010年夏の参院選で「ねじれ国会」が余儀なくされ、政局の混迷が予想される中で、地方議会議員の果たすべき役割にも大きな変化が求められている。

政局の混迷がもたらす環境の変化に加え、厳

清風クラブ

平成22年11月17日から19日まで、各務原市民会館・文化ホール、各務原北清掃センター、地域密着型老人ホーム「メゾンペイネ」を視察した。

各務原市は、岐阜県南部、濃尾平野北部に位置し、木曽川がまちの東西に流れ、名古屋市から30キロ圏内で、東海北陸自動車道をはじめ、交通の利便性に優れた中部圏の主要都市である。

市の中心部には、航空自衛隊岐阜基地が立地し、航空機、自動車等の関連産業が発展したまちである。

文化ホール視察では、施設の有効利用と多目

日本共産党

地域活性化、議会改革、国保の広域化など社会的にも関心が高まっている事項について、さらに内容を深めるための研修に重点をおいた。

上川・留萌管内女性議員研修会（9月24日美深町）では、道町村議会議長会事務局長の勢旗了三氏より、正副議長選で「所信表明」を行った福島町議会、全国初の議会基本条例を制定した栗山町議会、全国初の通年議会の条例制定をした白老町議会を例に、議会改革について学ぶ。

自治体問題研究所主催の議員研修会（11月4・5日）では、帯広市の中小企業振興基本条例制定から、地域経済の復興とグローカリズム²

しさを増す自治体財政の状況変化の中で、地方議会議員としての活動にも変化に対応する活動が求められている。今回の政務調査は、こうした観点に立って地方自治体における「福祉行政」「経済建設行政」について、それぞれ現地踏査と実務担当者から多くを学ぶことができた。



高知市で「いきいき100歳体操」の理論と実践を学ぶ

的機能性を持たせる意味、北清掃センターでは、環境に対する本質的な問題解決の方法、地域密着型老人ホームの施設では、少子高齢化社会を地域でどのように支えていくか等、様々な現状を調査・把握することができ、議員活動の中で、有効な政策提言に繋げていきたいと考えている。



各務原市文化ホールにて

について学ぶ。また、人口減少時代の都市計画、まちづくりについて、自然環境の再生や公共交通の再生などを行っている外国の例から学ぶ。

11月28日、国保事業を都道府県単位に広域化する国保の「広域化」が、市民にどのような影響、問題が生ずるかについて学ぶ。



9月24日の研修会の後、美深町文化会館COM100を視察した。

政務調査報告

公明

平成 22 年度政務調査費では、滝川市の駅前広場「くるる」、石狩市の企業誘致事業について、栗山町の農業振興公社が進める農地流動化、札幌市西区琴似の「ターミナルプラザこと PATOS」の視察を行った。

駅前広場「くるる」と「ターミナルプラザこと PATOS」では、利用の状況と目的、管理運営と活動状況、街なか利用促進の状況、パブリックコメント等々を学ぶことができた。これから建設される駅横バスターミナルと市民ホールへの参考とするために訪問した。

石狩市の企業誘致事業は、台風、地震等の災

害が少なく冬の雪を使つての冷房が利用でき、札幌からも近く、自然と環境に良く、誘致には 740 社が立地し物流の拠点となった。さくらインターネット社の誘致の可能性を検証した。

栗山町農業振興公社では、耕作放棄地への農地流動化への対策や方法を学んだ。



栗山町農業振興公社にて

まちづくり

まちづくりは、政務調査費の支出はありませんでした。

政務調査費とは

政務調査費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派(所属議員 1 人の場合も含む)に対して交付しています。

交付額は議員 1 人当たり、月額 10,000 円です。

10,000 円 × 12 カ月 × 会派所属議員数が会派への 1 年間の交付額になります。

平成 22 年度各会派の政務調査費概要報告

(単位：円)

	市政クラブ	市民連合	凜風会	緑風クラブ	清風クラブ	日本共産党	まちづくり	公明
政務調査費交付額	960,000	480,000	480,000	470,000	350,000	120,000	120,000	120,000
返還(未執行)	89,117	79,610			136,335	38,654	120,000	88,424
H 22 年度交付額	870,883	400,390	480,000	470,000	213,665	81,346	0	31,576
支 出								
研究研修費						44,800		
調査旅費	861,283	386,972	480,000	464,900	178,290			31,576
資料作成費								
資料購入費	9,600			5,100	29,400	16,660		
広報費						9,198		
広聴費						5,288		
その他経費		13,418			5,975	5,400		
計	870,883	400,390	480,000	470,000	213,665	81,346	0	31,576

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

5月18日に開催した委員会では、当委員会にかかわる行財政改革の推進についてと学校教育の推進について、担当部局から今年度の主な事業並びに多年度にわたる長期計画事業等について説明を受けた。6月3日、7日は、第2回定例会初日に付託された議案第1号名寄市風連地区地域振興審議会設置条例の制定について、

議案第4号名寄市立大学の授業料等徴収条例の一部改正について審査。担当職員の説明を求め、慎重に審査した結果、2議案共に原案どおり可決すべきものと結審し、6月13日の定例会最終日に報告した。



市民福祉常任委員会

5月19日に委員会を開催し、市立総合病院の平成22年度決算概要、地域医療再生計画等の説明を受けた。決算は、8,325万3,000円の黒字との報告を受けた。市民部は、国民健康保険税条例の限度額の改正、指定ごみ袋の生ごみ3袋の新規導入、平成22年度市税収納調べ、本年度課税状況の報告等。健康福祉部は、関係

7課から関連事業概要の説明があり、特に、今年度作成する、地域福祉計画、第3期障がい福祉実施計画、第5期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画の概要、作成スケジュール等の説明があった。



谷内 司 委員長は入院加療中です

経済建設常任委員会

委員会を5月25日に開催した。当委員会は、今回の改選後から、経済部・建設水道部・農業委員会を所管としている。経済部より、平成23年度の農林業施策、営農施策、(仮称)複合交通センター整備の概要の説明を受け、建設水道部からは、平成23年度の主要建設事業、平成22年度除排雪の状況、公営住宅等長寿命化計

画(23～32年度の10年計画)の概要について説明を受けた。(仮称)観光振興計画については、平成23年度中に市民委員会を立ち上げ策定し、平成24年度より取り組みを行いたいと説明を受けた。



議会運営委員会

平成23年第2回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、5月25日、31日、6月10日に委員会を開催した。会期を5月31日から6月13日までの14日間とすること、6月9日及び10日、13日に9人の議員が一般質問を行うことを確認した。議案第1号名寄市風連地区地域振興審議会設置条例の制定についてと、議

案第4号名寄市立大学の授業料等徴収条例の一部改正については、総務文教常任委員会に付託することを確認した。6月13日に委員会を開催し、議会報告会の開催場所、報告内容等について協議した。



き ぼ う



涙の 2 カ月
陸上自衛隊第 4 高射特科群 金盛 剛彦

未曾有の大災害となった東日本大震災。私は、第 4 高射特科群の災害派遣部隊員として 2 カ月石巻市で活動してきました。活動内容は不明者捜索から生活支援まで幅広く、私は広報陸曹としてカメラ片手に隊員の活動を日々ファインダーを通して記録してきました。記録には瓦礫の中で汗を流しながら一生懸命不明者捜索をする隊員の姿、被災者に優しく食事を提供する隊員等いろいろありました。その画像に言葉は入っていませんが、大勢の方に「ご苦労さん」「ありがとう」という感謝の言葉をいただき、シャッターを押す手が幾度となく震えました。



助産師として
名寄市西 11 条南 3 丁目 前川 由希

今年の 4 月から名寄市立総合病院で助産師として働きはじめ、約 2 カ月が経ちました。助産師は、生命の誕生に携わることのできる素敵な職業です。しかし、一つの命が誕生するという事は簡単な事ではないと、お産をする母親たちの姿を見るたびに感じます。そのため、私たち助産師は母親と赤ちゃんが元気にお産できるよう、精一杯のケアをしていけるよう努力しています。私自身はまだ未熟ですが、先輩助産師のような素敵な助産師になれるよう、日々努力し、母親の力強いパワーと可愛い赤ちゃんに癒されながら頑張っていきたいと思います。

議会報告会を開催します

議会報告会を下記の日程で開催します。ぜひ、お近くの会場までお越しください。

7 月 25 日(月)

名寄市民文化センター (2F 営農研修室)	午後 6 時 ~
東部地区集落センター (字日彰 285-1)	午後 7 時 ~
智恵文多目的研修センター (智恵文支所 2F)	午後 6 時 ~
市民会館 22 号室 (大通北 1)	午後 6 時 30 分 ~

7 月 26 日(火)

名寄市総合福祉センター (2F 和室)	午後 6 時 ~
17 区福祉会館 (西 5 北 2 ラルズマートよこ)	午後 6 時 ~
名寄東小学校 (多目的ホール)	午後 6 時 30 分 ~
ふうれん地域交流センター (大ホール)	午後 6 時 30 分 ~

編集後記

4 月 24 日に 20 名の新たな議会構成が決まりました。市民の声を市政へ届けるといった役割をしっかりと心に刻みがんばっていきますので、よろしくお願いたします。

『星守る犬』が公開されましたね。全国各地での試写会でも好評のようです。名寄での試写会には主演の西田さん玉山さん原作者の村上さ

ん、瀧本監督も来ていただき「名寄ふるさと大使」も引き受けていただきました。名寄を全国に大いに発信していただきたいと思います。

今定例会も多くの質疑質問がありましたが、自らの発言に責任を持ってこれからの市民生活にどう役立てていくかが重要だと思います。ご期待ください。(おく)

